

授業科目名 Course Name	英語教育演習 Seminar in English Education	教員名 Course Instructor(s)	早瀬 博範 Hironori Hayase
		Eメールアドレス E-mail	hhayase@miu.ac.jp
授業形態 Class Format	演習 Seminar	オフィスアワー Office Hours	演習後 After each session
科目番号 Course Code	LAI616	担当形態 Mode of Instruction (Solo / Omnibus / Jointly)	単独 Solo
単位数 No. of Credits	2	配当年次 Allocated Year	1～2年次
		卒業要件 Required or Elective to Graduate	選択 Elective
到達目標 Goals	今日の日本の英語教育の課題に対して、教員として、理論を踏まえながらも、より実践的な対応ができるためのスキルを身につける。各テーマに対して、基礎的な理論を確認し、実際の授業ではどのように生かすべきかについてディスカッションを行う。まとめてして、実際に教材を与えて、模擬授業ができるようにする。		
授業の概要 Course Overview	今日の日本の英語教育は、大きな転換期を迎えて、多くの課題がある。授業では、その中でも、直接授業に関連するテーマを選び、理論を踏まえ、実際にどのように対応し、授業実践に繋げれば良いかを考察する。具体的なテーマは、「英語による授業」の進め方、CLIL理論の導入、コミュニケーションを促し育成するための教材作成、コミュニケーション能力の評価方法である。最終的には、それらを踏まえ、模擬授業を課す。		
ディプロマ・ポリシーとの関係 Diploma Policy Objectives	DP1-1 高い語学力と高度な国際コミュニケーション分野の知識を身に付け、グローバル社会で確実なコミュニケーション力を発揮できる能力を有する。 Acquire highly proficient language skills and advanced knowledge in the field of international communication and has the ability to demonstrate reliable communication skills in a global society. DP1-2 国際コミュニケーションの観点から専門的な研究を行うために必要な学術的思考力を身に付け、国際社会の課題や諸問題を理解し、論理的かつ批判的に分析する能力や問題・課題の解決に向けて提言・実行する能力を有する。 Acquire the academic cogitative skills necessary to conduct specialized research from the		

	perspective of international communication, understand and logically as well as critically analyze issues and topics of the international community, and has the ability to make proposals and take action to solve these issues. DP1-3 グローカルな交渉現場に必要な、客観的思考力や高度な推理・判断力を常に向上させる意欲・関心・態度を有する。 Acquire the motivation, interest and attitude to constantly improve objective thinking skills and advanced reasoning and decision-making skills required in glocal negotiation settings.
履修条件・ 注意事項 Prerequisites / Remarks	
授業計画 Course Schedule	#1) イントロダクション：本授業の狙い、日本の英語教育の課題 #2) 「英語を英語で教える」授業の進め方 (1) (理論編) #3) 「英語を英語で教える」授業の進め方 (2) (実践編) #4) CLIL 理論の導入 (1) (理論編) #5) CLIL 理論の導入 (2) (実践編) #6) コミュニケーションを促し育成するための教材作成 (1) (理論編) #7) コミュニケーションを促し育成するための教材作成 (2) (実践編) #8) コミュニケーション能力の評価方法 (1) (理論編) #9) コミュニケーション能力の評価方法 (2) (実践編) #10) コミュニケーション育成のための授業展開(1) (理論編) #11) コミュニケーション育成のための授業展開(2) (実践編) #12) コミュニケーション育成のための授業展開(3) (実践編) #13) 模擬授業と授業評価 (1) #14) 模擬授業と授業評価 (2) #15) 模擬授業と授業評価 (3)
学生に対する評価 Assessment Criteria	評価方法は、受講生と教員の間で議論することで、受講生の理解度を評価することによる。 なお、成績の評価基準は大学院学則に依る。 The evaluation method is based on the evaluation of the students' level of understanding through discussions between the students and the instructor. Grading criteria will be in accordance with the Graduate School Regulations.

時間外の学習について Preparation and Revision outside Class	各テーマに関する論文講読授業案の作成、準備
テキスト Textbooks	随時紹介 Suggested, as needed.
参 考 書 ・ 参考資料等 References	Dale and Tanner, <i>CLIL Activities: A Resource for Subject and Language Teachers</i> (Cambridge UP, 2012) 『英語授業の型づくり』（語学教育研究所2021）